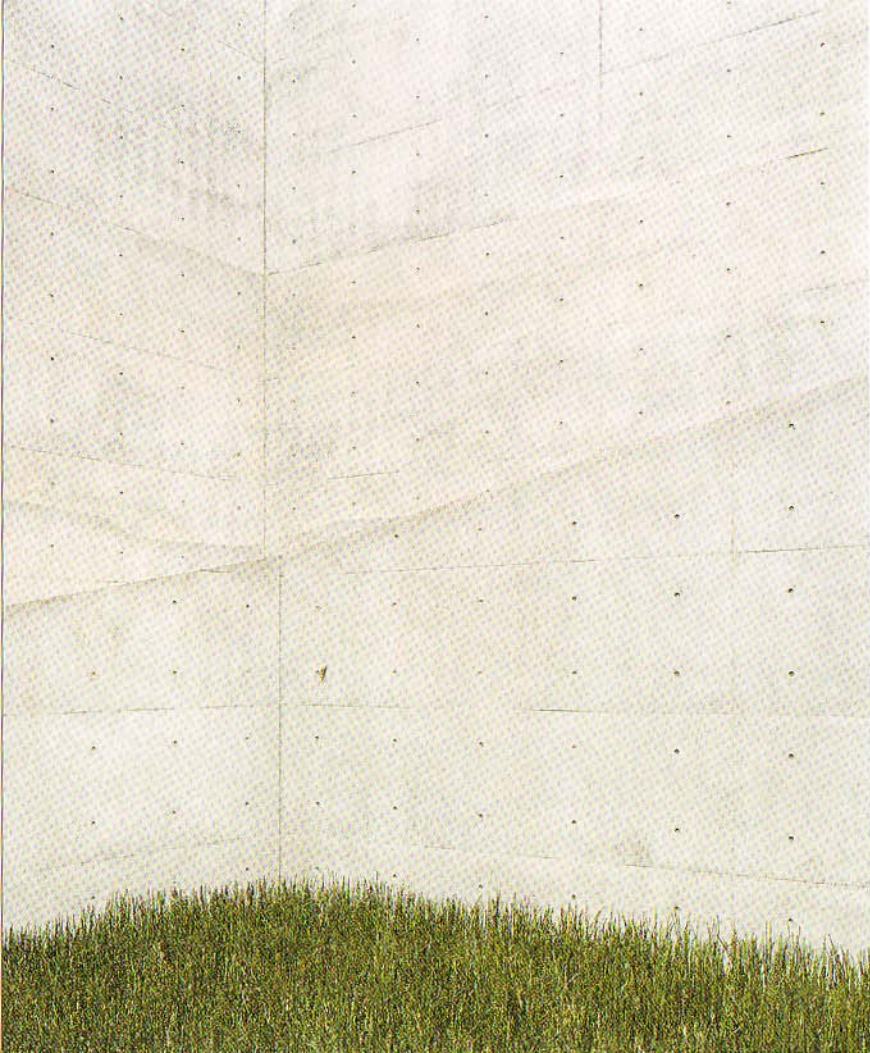




地中美術館

www.chichu.jp



地中美術館

自然と人間との関係を考える美術館。
瀬戸内の静かな自然が発するリズムと、
その場に最もふさわしいアートと空間の中で
人間の知性と感性の刺激を体感する場所。



「睡蓮の池」c.1915-26年



「タイム/タイムレス/ノー・タイム」2004年

クロード・モネ

地中につくられた空間でありながら、自然光のみでモネの絵画4点を鑑賞することができます。部屋のサイズ、デザイン、素材は、モネの絵画と空間を一体にするために選定されました。作品は、オランジュリー美術館の大装飾画（グランド・デコレーション）に代表される最晩年の「睡蓮」シリーズです。

【略 歴】

1840年パリに生まれる。1926年ジヴェルニーの自宅で86歳の生涯を終える。
代表作：「印象：日の出」のほか、「積み藁」、「ルーアン大聖堂」。1983年に移り住んだジヴェルニーに「水の庭園」と呼んだ睡蓮の池とそれを囲む庭を自ら造園し、「睡蓮」を生涯描き続けた。

ウォルター・デ・マリア

ウォルター・デ・マリアは、厳密な寸法とともに空間を提示し、その空間に直径2.2mの球体と27体の金箔をほどこした木製の彫刻を配置し、空間を構成しました。作品スペースの入口は東側にあり、空間の長辺と東西の方向が一致しているの、日の出から日没の間、作品の表情が刻々と変化していきます。

【略 歴】

1935年カリフォルニア州オルバニーに生まれる。1960年よりニューヨーク在住。
代表作：「ライトニング・フィールド」（1977年、ニューメキシコ）、「ニューヨーク・アース・ルーム」（1977年、ニューヨーク）、「ヴァーティカル・アース・キロメートル」（1977年、カッセル）、「ブロークン・キロメートル」（1979年、ニューヨーク）、「360度易经/64の彫刻」（1981年、パリ）、「フランス革命200周年記念モニュメント1789年-1989年」（1989年-90年、パリ）、「見えて/見えず 知って/知れず」（2000年、嵐島）。



「オープン・スカイ」2004年

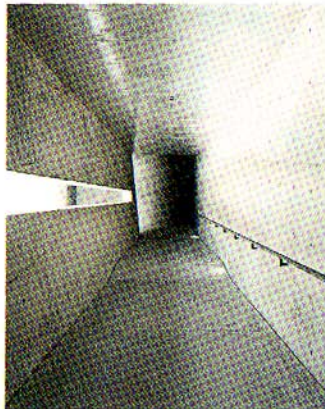
ジェームズ・タレル

光そのものをアートとして提示するジェームズ・タレルの作品は、それを正確に体験するためのスペースを伴うものであり、形態やサイズはタレル本人によって設計されます。当館の3作品は、タレルの初期から現在までの代表的なシリーズの中から選ばれたもので、タレルが求める光を年代をおって体験することができます。

【略歴】

1943年カリフォルニア州ロサンゼルスに生まれる。1979年よりローデン・クレータープロジェクト着工。現在、アリゾナ州フラッグスタッフ在住。

代表作：「ローデン・クレーター」（1979年～、アリゾナ）、「スカイスペース」（1986年、P.S.1、ニューヨーク）、「バックサイド・オブ・ザ・ムーン」（1999年、直島）、「光の館」（2000年、新潟）。



地中美術館

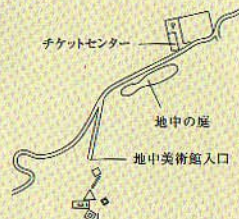
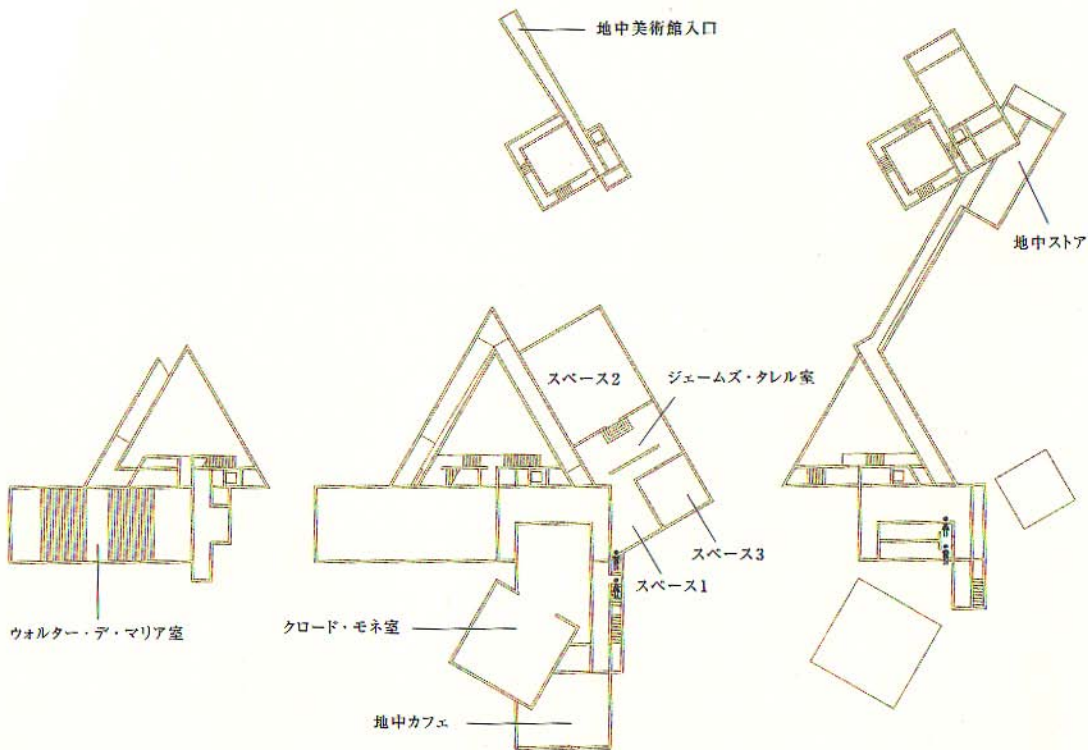
安藤忠雄

安藤忠雄の建築を構成する主な素材は、コンクリート、鉄、ガラス、木です。当館は、その4つの素材を使用し、デザインを極限まで切りつめて、設計されました。建築的外観は、地上にわずかに見える構造体のコンクリートの輪郭だけです。安藤は、地上に立ち上がる外観のデザインを退け、地中だけで構造体を構築しました。それは、非モニュメンタルでいて、建築的という相反する意味を両立させています。

【略歴】

1941年大阪に生まれる。独学で建築を学び、1969年安藤忠雄建築研究所を設立。代表作：「住吉の長屋」（1976年、大阪）、「六甲の集合住宅」（1983年～99年、兵庫）、「光の教会」（1989年、大阪）、「ベネッセハウス、及び同アネックス」（1992年、1995年、直島）、「南寺」（1999年、直島）。

フロアプラン



■ 地中の庭

「地中の庭」は、クロード・モネが愛した植物を配した庭園です。モネ自らが造園したジヴェルニーを題材として彼が描いた作品や、残されている資料などから選定された、約150種類の草花と40種類の樹木が四季折々の表情を見せてくれます。

B3

B2

B1

インフォメーション

◎ 開館時間

3月1日-9月30日 10:00-18:00 (入館は17:00まで)

10月1日-2月末日 10:00-17:00 (入館は16:00まで)

◎ 休館日

月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合は開館、翌日閉館)、12月30日-1月2日

※4月29日-5月5日、8月13日-8月15日は、開館。

※メンテナンス作業のため、臨時休館する場合があります。当館のホームページまたはお電話にてお問い合わせください。

◎ 鑑賞料

大人2,000円、15歳以下無料、年間パスポート10,000円 ※すべて税込

◎ 交通案内

【東京より飛行機の場合】 高松空港経由で約3時間30分

※高松空港から高松港へは、バスまたはタクシーにて約40分、高松港より定期船にて約1時間

【東京より新幹線の場合】 岡山駅経由で約5時間

※岡山駅から宇野港へは、バス、JRまたはタクシーにて約50分、宇野港より定期船にて約20分

直島島内では町営バスで「地中美術館」下車

■ 地中ストア [館内B1F]

当館刊行の書籍をはじめ、アーティスト関連書籍、オリジナルグッズ、ポストカードなどをお買い求めいただけます。また、地中ストアのみで購入可能な大好評のファッショングッズなど、1年を通して楽しい商品を展開していきます。

Tel. 087-892-3756

■ 地中カフェ [館内B2F]

新鮮な食材を使ったメニューをお楽しみいただけます。目の前に広がる瀬戸内海の美しい景色とともに、季節ごとに趣向をこらしたランチメニューなどを、ぜひご賞味ください。

Tel. 087-892-2558

ジェームズ・タレル「オープン・スカイ」ナイト・プログラム鑑賞方法

「オープン・スカイ」は、開館時間中いつでも鑑賞していただける作品ですが、日没にかけてナイト・プログラムをご覧ください。鑑賞には、通常の鑑賞料に加え別途500円と予約が必要です。

毎週金曜日と土曜日にご覧いただけます(7月~11月は日曜日も開催いたします)。鑑賞申込、開始時間は、当館のホームページまたはお電話にてお問い合わせください。